



一般社団法人

JWMTO トピックス

Vol. **15**

2018年3月3日発行

ヒトの未来を支えあうチカラ

1. 事務局からお知らせ
2. 活動報告
3. 会員だより
4. スポンサー様より

1月11日に、関澤理事長、村越副理事長、東谷事務局長が東京都環境局に福祉車両についてのヒアリングを受けました。東京都ではUDタクシーの導入予算として61億円を計上していますが、現在はハイブリッド車両のみの補助金となっています。そこで、JWMT0から介護福祉車両にはなぜハイブリッド車がほとんど無いのかの説明を行いました。

1月30日に、千葉県船橋市と千葉県中古自動車販売商工組合船橋支部が「災害時協力井戸」の使用に関する協定を結びました。この協定はJWMT0が仲介したもので、記者会見に東谷事務局長が出席致しました。

東京交通新聞 (毎週月曜日発行) 総合・社会 第2808号

「新モビリティ」とともに作る タクシニヤトヨタ常務が講演

若草のタクシー「若草」会(会長 田中孝・日)の東京・ホテルグランドルで開かれた「新モビリティ」問題懇談会(丸交社主催)は1月31日、市ヶ谷で新年会を開催した。

災害時 井戸水を提供

船橋市と中古車業界が協定



大規模災害が発生した際に、被災者や避難者に対し、井戸水を緊急に提供するため、千葉県船橋市と千葉県中古自動車販売商工組合(船橋支部)が1月30日、協定を結んだ。

協定書を手にする松戸市長(右から3人目)、ステッカーを掲げるジェウントの東谷事務局長(左隣)ら(1月30日、千葉県船橋市)

ジェウント仲介「1つの成果出た」

英語での接客力披露

英語に堪能なドライバーが、乗客の外国人観光客に英語で接客する。古橋仁(こはね)が、乗客の外国人観光客に英語で接客する。古橋仁(こはね)が、乗客の外国人観光客に英語で接客する。

多言語ICT化フォーラム参加

東京タクシーセクターは、1月30日、ベルサール東京日本橋で開かれた「多言語ICT化フォーラム」に参加した。このフォーラムは、多言語での接客力向上を目指す。東京タクシーセクターは、1月30日、ベルサール東京日本橋で開かれた「多言語ICT化フォーラム」に参加した。

ジェウント仲介「1つの成果出た」

白タクの接客に危機感

チームネクスト 沖縄で総会・セミナー

白タクの接客に危機感。チームネクスト 沖縄で総会・セミナー。白タクの接客に危機感。チームネクスト 沖縄で総会・セミナー。

フルフラット 車両29台導入

都18年度予算・バス関係

フルフラット 車両29台導入。都18年度予算・バス関係。フルフラット 車両29台導入。都18年度予算・バス関係。

ジェウント仲介「1つの成果出た」

巡回指導 大きな声

BUS 新年会

巡回指導 大きな声。BUS 新年会。巡回指導 大きな声。BUS 新年会。

巡回指導 大きな声

BUS 新年会

巡回指導 大きな声。BUS 新年会。巡回指導 大きな声。BUS 新年会。

ジェウント仲介「1つの成果出た」

元日の交通新聞記事に関澤理事長のインタビューが大きく掲載されました。

ジェウント 関澤 俊夫理事長に聞く

UDと福祉限定すみ分けを

全国の福祉・介護限定タクシー事業者で組織する日本福祉医療輸送機構（JWMTO）ジェウント、約1200社の関澤俊夫理事長（リムジンケアサービス社長、東京）は本紙のインタビューに応じ、2020年東京五輪・パラリンピックに向け、「普段からパラアスリートの輸送に携わっている」と、気負いなく臨む姿勢を示した。トヨタ「JAPANTAXI」の車いす乗車に不適切な事例が起きていることに「UD（ユニバーサルデザイン）タクシーと福祉限定をしっ

かりすみ分けできれば」と唱えた。
（聞き手＝中川基晴記者）

□ □ □
――昨年を振り返って。

「千葉県、東京都補助金の対象に福祉限定タクシーが入ったことが大きい。都道府県で全国初だった。機構発足当時から目標は、障害者1割引の事業者負担を

行政に負担してもらうことだが、今回の件から、新たな補助制度が生まれるきっかけになり、目標への近道になるかもしれない」

――事業の現況は。抱えている問題は何か。

「福祉限定はタクシーとしての知名度があまりに低い。各地域の協議会に加えてもらえるよう提案している。法人タクシー、個人タクシーとも自家用車ライド

シェアに反対しているが、われわれ限定事業者も（協議会などで）タクシーとして一本化されれば、一緒に闘いたい気持ちだ」

「ドライバーが高齢化しており、いかに補強するか。収益面で魅力がないため、社会貢献の気持ちがないとできない。認知度アップと経営環境の改善で魅力ある業界にしなければ。昨今、40代から50代のバブル期入社の余剰社員が多く、人員整理されていて、狙い目だ。彼らにうまくアピールし、しっかりサポートして参入を増やしたい」

――今後考えている取り組みを伺いたい。
「限定事業は自由競争だが、好き勝手な部分もある。悪質な業者には世間の風当たりは強い。ジェウントが業界の核となり、まとめていけたらと思う。例えば、公的効力のある業務員証。タクシーセンターに協力してもらったのが理想だが、私たちが発行に責任を持つ。利用者への利便性、サービス向上につながる」

――あと、自民党内で、（民進党に続いて）福祉タクシーの議員連盟を立ち上げる動きに期待したい」

――JPNタクシーの車内で、車いす利用者を固定せず、横向きのまま出発した例があったようだ。――「車いす利用者にとって無理に搬送されるのは大変

危険。無理なものは無理とはっきりさせるべき。慣れたころ、もっとミスが出るのではと心配している。今のままだと、車いす利用者は乗れるのかどうか不安だ。そんなイメージはUDタクシーにとってマイナス。UDと福祉限定のすみ分けをしっかりとできれば、双方の連携が必要だ」

――20年のパラリンピックに向けて。

「普段からパラアスリートや関連団体の輸送に携わっている。パラリンピックだからといって特別、気にはしていない。ただ、輸送の強化が必要なのは確か。まだ数字を把握できていない。東京五輪組織委員会から、車両は公式スポンサーのトヨタ、タイヤはブリヂストンにする話も出ていて、戸惑っている」



関澤理事長は法人・個人タクシー、タクセンとの連携の必要を強調した（昨年12月6日、東京・台東区）

国と同時に、自治体での介護福祉タクシーに対する施策強化の礎とするため、関澤理事長が東京都足立区に介護タクシー連絡協議会設置のお願いをしました。また、足立区議会議長宛てに議員連盟設置のお願いをしました。

1月30日に、千葉県タクシー協会のUDタクシー出陣式に関澤理事長が出席を致しました。

本年のJWMTOの活動方針を理事会にて改めて検討し、具体的な目標設定を行いました。

1. 国会議員（特に与党）による福祉タクシー議員連盟の設立
2. 運賃の障害者割引に対する助成金等の獲得
3. 各地方自治体での車両購入補助金制度の確立
4. 売上（特に生活保護受給）に対する消費税の減免制度の確立
5. JWMTO 個人会員の獲得、増加施策

以上の施策に力を集中してまいります。理事の皆様、会員の皆様の応援、ご協力の程、何卒宜しくお願い申し上げます。





会員だより

今回は「一般社団法人 福祉移送ネットワーク アイラス」の
東部北代表理事、工藤勝己様よりご投稿をいただきました。



『ご挨拶』

全国の JWMTTO 会員及びスポンサー様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。一般社団法人 福祉移送ネットワーク アイラス シリーズも第5弾となり、今回は東部北グループよりご挨拶させていただきます。

アイラス東部北グループは現在16事業者で組織されており、東京城北地域（足立区・荒川区・北区・台東区・文京区）が担当エリアとなります。私達が活動しているエリアには、浅草や上野や秋葉原など有名な観光名所も多くあり、観光のお客様や特別支援学校の修学旅行で上京される生徒様をご案内させていただく機会も多くあります。

また一昨年、有明コロシアムで開催された「車いすテニス世界大会」において、会場～ホテルやホテル～成田及び羽田空港の送迎をアイラスグループ全体で担当させていただき、延べ179台を配車した実績があり、アイラスグループ全体協力の中で東部北グループも貢献させていただきました。

アイラス東部北グループの活動としては、月1回の地域会議を開催し参加事業者で意見交換や様々な改善点などを話し合い、お客様により安全でより安心して介護タクシーをご利用して頂けるよう、また参加事業者がより良い仕事環境になるよう日々努力しております。仕事以外にもボーリングやゴルフ、サイクリング、音楽活動など仲間同士のコミュニケーションも楽しくっております。

今後さらに増加が見込まれる外国人観光客への取り組みや、2020年に開催される東京オリンピック、東京パラリンピックへ向けての対応を JWMTTO の皆様と協力していけたらと考えております。



一般社団法人 福祉移送ネットワーク アイラス
東部北代表理事 工藤 勝己
(足立区 福祉タクシー城山町工房)

団体名・代表者 一般社団法人福祉移送ネットワーク アイラス ・理事長 村越信一
本部所在地 〒116-001 東京都荒川区西日暮里5-23-3 冠第2ビル2F
電話番号 0120-840-082
公式サイト <http://www.ailus.jp>



介護現場に すぐに役立つ **IP 無線**



SoftBank 301SJ

1. IP 無線とは？

「ソフトバンク 3G 回線を使用した業務用携帯型トランシーバです。

ソフトバンク 3G サービス内では日本全国で通話が可能、GPS 機能搭載で位置情報・状態の確認が可能です。通話モードは一斉（1:N）、グループ、個別（1:1）などがあり、無線特有の同報性、即時性で重要な情報が即時に伝達出来ます。

* 詳細は → <http://www.softbank.jp/biz/mobile/lineup/201sj/>



2. ご利用シーン



車両を複数台で使用する事業者様での業務連絡（出発・完了、緊急時等）。携帯電話と違い一斉通話にて即時に情報共有が可能です。

3. 導入メリット

事業間で業務の状況が確認・共有でき、お客様からのお問い合わせ等に直ぐに回答でき、お客様からの信頼向上、配車回数の増加など業務の効率化が期待できます。



東京

TEL 03-5777-3974 **FAX** 03-3434-8117
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー12F



大阪

TEL 06-4797-7610 **FAX** 06-4797-7635
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-2-6 東洋紡ビル4F

公式サイト

<http://www.seiryodenki.co.jp/>





発行元

一般社団法人 日本福祉医療輸送機構 JWMTO

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-6-9 ジュネシオン竜泉101

発行責任者：理事長 関澤俊夫

TEL：03-5849-4199 FAX：03-5849-4210

公式サイト：<http://www.jwmtto.or.jp/>

